

飯能 吾妻峡ボルダー

2016.3.19 rctK

時々しかクライミングができず、無理をしたら指を痛め、肩を壊してしまった。コンスタントに登っていないと無理はできないものである。春の年波には勝てぬというところか。

故障の方も少し回復し、先日、天気予報では天候は何かもちそうなので、ちょっと登ろうと奥多摩の山の方に向かったら途中から曇状態になってしまう。結局登れずあちこちの昔登ったボルダーの状態を確認しに行く。何処も濡れており登れる状態ではなく、いろいろ回るうちに飯能近くまで来たので、昔ちょっと登った吾妻峡ボルダーを覗いてみる。意外と雨の後とはいえ乾いており、結局時間がなくその日は帰宅となったが、その数日後、ちょっと時間が取れたので、早めに帰れるところということで遊びに行ってみる。

このエリアは多分誰も登っておらず、超マイナーなボルダーである。川沿いで下地が変化したり、日陰は苔が付きやすく、決してお薦めというものではないが、幾つか楽しめるものがあるので、情報提供の意味で紹介する。

なお左岸上流のE岩は、以前川側が砂地で長いトラヴァースが可能であったが、現在は川となっており、山側が楽しめるだけである。その他のボルダーについても取り付けが下がってクライミングできなくなってしまったものがある。

岩質はチャートも混在しているが、どちらかというと主に硬砂岩でフリクションは良いが、少し脆い部分がある。もし行く場合は、一応上流側は川遊びの観光客も少なく静かではあるが、釣り人などのトラブルは避けてもらいたい。また、河原に焚火の跡が見られるが、やめた方がいいだろう。家族連れでバーベキューなどをする場合は、その限りではない。

アクセスは車利用が良い。ドレミファ橋と中平河原(なかだいらがわら)の降り口には有料駐車場がある。P岩は中平河原の駐車場が近く、それ以外はドレミファ橋の駐車場に近い。

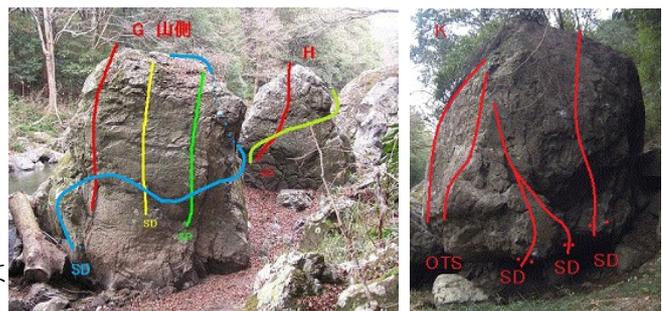


●G岩、H岩&K岩

G岩は山側(上流面)に易しい課題が何本かある。山側から下流面へのトラヴァースがそこそこ面白いが、最後は岩の間に挟まった太いパイプの上に抜けるのでちょっと注意が必要。

H岩は易しい課題のみ。

K岩はハイボルダーだが、課題の核心は下部なので、それほど緊張感はない。しかし、川側は下が水溜りとなっているので、ちょっと気分的には嫌である。



●L岩(川側の岩と山側の岩)

2つ姉妹のように岩が並んでいる。川側の岩の上流面と山側の岩の周囲に課題が何本もあり、いろいろ手を変え品を変え遊ぶには良いところである。

この両岩の間には流木が詰まりやすく、以前も詰まっていたが今回も同様で、課題によってはその都度取り除く必要がある。



●P岩

P岩は中平河原の一番端にあるちょっと高さのある岩。被りはなく、細かなフェイスクラッキングが楽しめる。登られていなければ苔が付いていると思われる。

